

第11回鎌倉散策

第11回目の鎌倉散策は、平成30年4月20日(金)に開催。今回は【鎌倉十三佛巡り】の結願となる最終回です。初夏のような日差しですが風は涼しく爽やかな日でした。途中蜂蜜屋さんで油を売って試食用に1本買ってから『壽福寺』へ、観光客の少ない静かなお寺です。

幹事が代表で御朱印帳のお願いに行ったところ、ご住職から『一人づつ来ないとダメです喝!』そうです。ズルをしてはいけません。ご利益が薄れます。でも、ご住職の記帳は素晴らしい書でした。ありがとうございました! お参りが済んで鎌倉駅に戻り、江ノ電で極楽寺に向かいました。橋の上で駅に入線する江ノ電の来るのを見物。振り返って、明治40年竣工の『極楽洞トンネル』に入っていくところをパチリ。



『極楽寺』は鎌倉では珍しい真言律宗の寺院です。境内には『忍性』が薬作りに使ったとされる石鉢と石臼があります。また、北条時宗が植えたと言われる珍しい『八重一重咲分桜』があります。一本の桜の木から八重の花と一重の花が咲く珍しい桜で、京都では『御車返し』の桜ともいわれる鎌倉材木座の桐ヶ谷が原産の桜(桐ヶ谷桜)です。



続いて向かったのは、今回の鎌倉十三佛巡りの最後となる十三番札所『成就院の虚空蔵菩薩』です。

成就院は鎌倉の紫陽花の名所の一つですが、昨年崖が崩れて紫陽花の苗木を植えたばかりで今年の花はあまり期待できそうもありません。

『虚空蔵堂』は誰もいないため、『成就院』で御朱印をいただいてからのお参りです。

虚空蔵菩薩は一切の仏様を拝んだものと同じ効果があり、無量の福德と知恵をそなえ、全ての願い事を叶えてくれる仏様といわれています。ガイドの千葉さんの説明が終わり『虚空蔵菩薩』のご真言をみんなで唱えて『結願』となりました。

ご真言 【なうぼうあきやしやきゃらばやおんありきやまりぼりそわか】

遅い昼食は、長谷駅に向かう途中にある初代幹事の『故辻村忠さん』の義理の息子さんがオーナーの『IZA 鎌倉ゲストハウス』で思い出話をしながら美味しくいただきました



『IZA鎌倉ゲストハウス』

次回以降は、『鎌倉24地蔵巡り』を計画しています。
11月下旬となる見込みです。
皆様の参加をお待ちしています。 幹事 松浦潤